

2014年度 立命館大学校友会

東日本大震災復興支援東北応援ツアーレポート

ツアー参加者氏名 藤森昭彦

卒業年 s 5 8 卒業学部 文学部

参加コース C 福島県コース

---

Q それで間違いに気付いたのはいつだったのですか？

A えーと、福島駅に到着したのは10時46分でした。やまびことつばさの連結器をはずす場面の写真を撮って、新幹線改札口を出て、「ここで11時30分集合か。」と思いました。

Q その時はまだ集合場所が「福島駅」ではなく、「郡山駅」であるということに気付いていないのですね。

A そうです。ハガキは見ていたのですが、「福島県コース」とか「福島空港」とかの言葉に導かれて、「郡山駅」と「福島駅」の違いに気付いていないのです。

Q で、いつ気付いたのですか？

A 11時30分になって、「立命館」のボードがでないので、「？」と思って電話しようとハガキをもう一度見た時に「郡山駅集合？ここは郡山駅ではない！」と気付いたのです。

Q で、どうされたのですか？

A 電話して、「自力で、川内村か、三春デコ屋敷かホテルに来て下さい。」ということだったので、とりあえず郡山駅に向かいました。

Q で、川内村ではなく三春で合流したわけですね。

A そうなんです。

Q それで今回の川内村での学習はどうするのですか？

A すいません。いただいた資料とWEBで自主学習します。でも、夜の学習会には心うたれるものがありました。福島に戻りたいのに戻れない方がまだまだたくさんいらっしゃる。私の住む奈良にもおられます。飯塚さんは決して声高にはおっしゃいませんでしたが、淡々と現状を報告なさって、なかなか順調には進まない除染の現状や消えることのない風評被害について語って下さいました。この旅行を機に「忘れないFUKUSHIMA」を誓います。